# 一般演題（ポスター）プログラム

**【25 日・ポスター A　コアタイム：16：00 ～ 17：30】**
「管理・施設・倫理・福祉」「実験手技・代替・麻酔・鎮痛」
「栄養・生理・生化学」「脳・神経・行動」「薬理・安全性」

**1A01　ふくしま医療機器開発支援センターについて**
福島県商工労働部 医療関連産業集積室

**1A02　東京大学 医療技術評価実験室の設計と実装**
○藤澤 彩乃[1]、守井 克江[2]、月原 弘之[1]、鄭 雄一[1,2]、佐久間 一郎[1]
[1] 東京大学大学院工学系研究科、[2] 東京大学大学院医学系研究科

**1A03　熊本地震によるマウス飼育ラックのタイプ別被害状況について**
○坂本 亘[1]、山内 寿十[2]、福田 静男[3]、一村 憲司[4]、坂口 香織[1]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野 、[2] アークリソース株式会社、[3] 株式会社ファビルス、[4] 九動株式会社

**1A04　レンタカーを利用した仮設実験動物飼養保管施設の作成**
○田崎 隆史[1]、小島 正美[1,2]、鈴木 敬久[3]、立松 芳典[4]、佐々木 洋[1,2]
[1] 金沢医科大学総合医学研究所 生命科学研究領域、[2] 金沢医科大学医学部眼科学、[3] 首都大学東京理工学研究科 電気電子工学専攻、[4] 福井大学遠赤外領域開発研究センター

**1A05　実験動物施設床面における転倒抑制フロアコートの有用性**
○野田 義博[1]、根本 妙子[1]、田靡 文大[2]、竹迫 清之[3]、田中 裕一[4]、高橋 洋子[4]、遠藤 玉夫[1]
[1] 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 実験動物施設、[2] ダイセル・オルネクス株式会社、[3] シーエル研究所、[4] 株式会社ケー・エー・シー

**1A06　過酸化水素消毒における気相状態の重要性**
○木村 透[1]、八幡 裕之[2]、内山 喜道[2]、市原 広信[2]
[1] 山口大学共同獣医学部 病態制御学講座（実験動物学）、[2] サンタサーロ＆ステリープロソリューション株式会社

**1A07　IVC ラックを使用した飼育環境における光触媒脱臭**
○岸 成好[1]、中村 和臣[2]、吉村 一幸[1]、大室 誠士[3]、平松 敬[4]、大林 徹也[2]
[1] 株式会社レナテック、[2] 鳥取大学生命機能研究支援センター、[3] 株式会社夏目製作所、[4] 鳥取県産業振興機構

**1A08　集塵効率の良い新しいビニールアイソレータ用エアフィルター材の開発**
○齊藤 宗雄[1] 、今井 都泰[1,2] 、山本 卓[3]
[1] 株式会社ジック、[2] 公益財団法人実験動物中央研究所、[3] ニッタ株式会社

**1A09　マウス飼育における環境エンリッチメント導入の検討**
○山本 宏美[1]、橋本 章弘[1]、原田 直幹[1]、伊東 里子[1]、鈴木 崇将[1]、大竹 貴久[2]、田中 克尚[1]、櫻木 求[1]、小田 伸行[1]、岩沢 善一[1]
[1] 大鵬薬品工業株式会社、[2] 株式会社ジェー・エー・シー

**1A10　ブタの無菌的娩出・飼育技術の確立と SCID ブタ飼育の試み**
○原 弘真[1]、柴田 宏昭[2]、中野 和明[3]、阿部 朋行[1,2]、魚崎 英毅[1]、大貫 貴広[1]、スブド ビャンバー[1]、ナーウィン ジャントラー[1]、菱川 修司[2]、國田 智[2]、長嶋 比呂志[3]、濡木 理[4]、花園 豊[1,2]
[1] 自治医科大学分子病態治療研究センター、[2] 自治医科大学先端医療技術開発センター、[3] 明治大学農学部、[4] 東京大学大学院理学系研究科

**1A11　マウスにおける三種混合麻酔薬のメデトミジンの用量の違いによる麻酔効果と生体への影響について**

○桐原 由美子[1]、武智 眞由美[1]、黒﨑 薫[1]、池田 紀之[1]、梶谷 尚世[1]、橋浦 正之[2]、小林 裕太[3]、齋藤 洋司[4]
[1]島根大学研究・学術情報機構 総合科学研究支援センター 実験動物部門、[2]株式会社ハクバテック・ライフサイエンス・ソリューションズ、[3]島根大学医学部 基礎看護学講座、[4]島根大学医学部 麻酔科学講座

**1A12　アルファキサロン、メデトミジン、ブトルファノール三種混合麻酔薬の実験用マウスにおける性差および系統差**

○山田 典英、塚本 依子、山田 陸、三好 健二郎、山下 和人、大杉 剛生
酪農学園大学

**1A13　手術侵襲下における各種麻酔法の作用特性**

○塚本 篤士、新野 夏子、猪股 智夫
麻布大学獣医学部 実験動物学研究室

**1A14　ラットにおける麻酔方法の相違による経時的影響**

○寺田 節[1]、塚原 崇[1]、今 弘枝[1]、秋元 敏雄[2]、篠田 元扶[1]
[1]獨協医科大学実験動物センター、[2]日本医科大学実験動物管理室

**1A15　体調指標としてのマウス運動量自動モニタリングシステムの開発**

○田嶋 美仁[1]、谷田部 和久[1]、藤田 悠平[1]、佐久間 健治[1]、橋口 誉[1]、柿添 陽[1]、林 進[1]、松岡 英明[1,2]、乙訓 桂子[2]、斉藤 美佳子[2]
[1]オリエンタル技研工業株式会社、[2]東京農工大学

**1A16　体内埋め込み型活動量計 nano tag を用いた順化検討実験**

○松本 清司[1]、吉沢 隆浩[1]、滝沢 義人[2]、伊東 嘉春[2]、牧野 剛士[3]、落合 敏秋[3]
[1]信州大学基盤研究支援センター 動物実験支援部門、[2]キッセイコムテック株式会社、[3]日本エスエルシー株式会社

**1A17　新型テレメトリー送信器を用いたイヌの自律神経系機能評価**

○坂井 勝彦、水流 功春
プライムテック株式会社 研究支援部

**1A18　ウサギにおける新規門脈カニュレーション法の考案**

○福田 直樹、伊藤 恒賢
山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター

**1A19　ヘアレスミニブタ摘出皮膚を用いた消毒薬効力評価系の確立**

○國田 智[1]、牧村 幸敏[1]、二井 卓哉[2]、林 晃生[2]、井上 泰秀[2]
[1]自治医科大学先端医療技術開発センター、[2]大塚製薬工場 鳴門研究所

**1A20　糖尿病マウスの創傷遅延に対するシンバイオテイクスの改善効果**

○久保 薫[1]、友田 恒一[2]、小田巻 俊孝[3]、清水 金忠[3]、木村 弘[2]
[1]奈良県立医科大学動物実験施設、[2]奈良県立医科大学第二内科、[3]森永乳業株式会社 基礎研究所

**1A21　正常および遺伝性高コレステロール血症（KHC）ウサギ大動脈の硬さの評価―大動脈脈波速度と大動脈 Beta との比較検討―**

○勝田 新一郎[1]、片平 清昭[2]、日柳 正彦[3]
[1]福島県立医科大学医学部 細胞統合生理学講座、[2]福島県立医科大学医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター、[3]株式会社日本医科学動物資材研究所

## 【25 日・ポスター B　コアタイム：16：00 ～ 17：30】
## 「発生工学」

**1B01　培養液中のカルシウム濃度がラット精子の先体反応および体外受精率に与える影響**

○今 弘枝[1]、藤ノ木 政勝[2]、寺田 節[1]
[1]獨協医科大学実験動物センター、[2]獨協医科大学医学部 生理学

**1B02　メチル - β - シクロデキストリンによる生体膜脂質環境の変化がマウス冷蔵精子の超活性化を誘起する**

○吉本 英高[1]、竹尾 透[1]、桐木平 小春[1]、入江 徹美[2]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 熊本大学大学院生命科学研究部薬剤情報分析学分野

**1B03　生体膜コレステロール量がマウス凍結精子の耐凍能に及ぼす影響**

○竹尾 透、野田 雅文、中潟 直己
熊本大学生命資源研究・支援センター 資源開発分野

**1B04　β -NMN 添加修正 TaM 培地が体外成熟由来卵子の遺伝子発現に与える影響**

○小木曽 力[1]、折杉 卓哉[1]、東 里香[2]、小橋 朱里[1]、西村 愛美[3]、野田 義博[4]、中川 隆生[5]、小笠原 里奈[1]、鷲津 朱理[1]、細井 美彦[1,2,6]、安齋 政幸[2,6]、松本 和也[1,2]
[1] 近畿大学生物理工学部、[2] 近畿大学大学院、[3] 関西医科大学付属生命研、[4] 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 実験動物施設、[5] 株式会社紀和実験動物研究所、[6] 近畿大学先端技術総合研究所

**1B05　L-carnitine 添加 mTaM 培地がマウス体外成熟由来卵子における *Cpt2* 遺伝子へ与える影響**

○小笠原 里奈[1]、小橋 朱里[1]、東 里香[2]、西村 愛美[3]、野田 義博[4]、中川 隆生[5]、小木曽 力[1]、鷲津 朱理[1]、細井 美彦[1,2,6]、松本 和也[1,2]、安齋 政幸[2,6]
[1] 近畿大学生物理工学部、[2] 近畿大学大学院、[3] 関西医科大学付属生命医学研究所、[4] 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 実験動物施設、[5] 株式会社紀和実験動物研究所、[6] 近畿大学先端技術総合研究所

**1B06　遺伝子組換え・突然変異マウスにおける超過剰排卵誘起法の効果について**

○延本 篤也[1,2]、都留 英美[2]、溝渕 雅章[1,2]、久川 清仁[1,2]、茂川 拓紀[1,2]、津田 雅之[2]
[1] 高知大学設備サポート戦略室、[2] 高知大学総合研究センター 動物資源開発分野

**1B07　各ロットのインヒビン抗血清を用いた過剰排卵誘起効果の比較**

○春口 幸恵[1,2]、山下 紀代子[1,2]、近藤 朋子[1,2]、竹下 由美[1,2]、中牟田 裕子[1,2]、梅野 智子[1,2]、石田 恵理[1,2]、岩本 まり[1]、高橋 郁[1]、坂口 香織[1]、坂本 亘[1]、中川 佳子[1]、土山 修治[1]、椋木 歩[1]、竹尾 透[1]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 九動株式会社

**1B08　超過剰排卵誘起由来体内受精二細胞期胚の採取および産子作製の効率化**

○竹下 由美[1,2]、山下 紀代子[1,2]、春口 幸恵[1,2]、近藤 朋子[1,2]、中牟田 裕子[1,2]、梅野 智子[1,2]、石田 恵理[1,2]、岩本 まり[1]、高橋 郁[1]、坂本 亘[1]、中川 佳子[1]、坂口 香織[1]、土山 修治[1]、椋木 歩[1]、竹尾 透[1]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 九動株式会社

**1B09　超過剰排卵誘起由来マウス凍結卵子を用いた体外受精法の改良**

○椋木 歩、須賀原 千明、竹尾 透、中潟 直己
熊本大学生命資源研究・支援センター 資源開発分野

**1B10　抗インヒビン血清による超過剰排卵誘起法の NOG マウスへの利用**

○後藤 元人[1]、相澤 竜太郎[2]、香川 貴洋[1]、高橋 利一[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所 、[2] 株式会社ジェー・エー・シー

**1B11　加齢雌マウスを用いた体外受精における超過剰排卵誘起法の効果について**

○六車 香織[1]、高野 聡美[1]、山口 一路[2]、冨田 耕平[2]、小木曽 昇[1]
[1] 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室、[2] 株式会社ケー・エー・シー

**1B12　CARD HyperOva を用いた BN ラットの過剰排卵誘起処置の有用性**

○中務 胞、夏目 里恵、﨑村 建司
新潟大学脳研究所 細胞神経生物学分野 基礎神経科学部門細胞神経生物学分野

**1B13　青色 LED がマウス受精卵の発生に及ぼす影響**

○伊東 彩、バパリ モハマド アブ ジャフォル、湯澤 和明、山海 直
医薬基盤・健康・栄養研究所

**1B14　129 系ノックアウトマウスの体外受精率に対する Buserelin の効果**

○伊藤 恒賢、尾崎 順子、福田 直樹、須藤 まゆみ、田中 大資
山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター

**1B15　ストローを用いた簡易ガラス化法によるマウス二細胞期胚の凍結保存**

○近藤 朋子[1,2]、山下 紀代子[1,2]、春口 幸恵[1,2]、竹下 由美[1,2]、中牟田 裕子[1,2]、梅野 智子[1,2]、石田 恵理[1,2]、岩本 まり[1]、高橋 郁[1]、土山 修治[1]、竹尾 透[1]、Mo Guan[3]、Martin Fray[3]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 九動株式会社、[3]Mary Lyon Centre, Medical Research Council, Oxfordshire, United Kingdom

**1B16　DBA/2FG-pcy マウスにおける冷蔵胚の胚移植による産仔率の検討**

○宮川 あい、坂口 摩姫、川内 勝、三小田 伸之
九動株式会社 技術開発部

**1B17　プロゲステロン投与による計画的な偽妊娠雌マウスの作出**

○長谷川 歩未、持田 慶司、冨島 俊子、廣瀬 美智子、越後貫 成美、井上 貴美子、小倉 淳郎
理化学研究所 バイオリソースセンター

**1B18　ラット卵管内液に基づいた栄養添加によるラット胚体外培養法**

○中村 和臣[1]、森本 佳世子[1]、島 かおる[1,2]、吉村 祐貴[1]、香月 康宏[3]、鈴木 治[4]、松田 潤一郎[4]、大林 徹也[1]
[1] 鳥取大学生命機能研究支援センター、[2] 株式会社エーテック、[3] 鳥取大学染色体工学センター、[4] 医薬基盤・健康・栄養研究所

**1B19　熊本地震がマウス凍結精子および凍結胚の品質に及ぼす影響**

○石田 恵理[1,3]、山下 紀代子[1,3]、春口 幸恵[1,3]、近藤 朋子[1,3]、竹下 由美[1,3]、中牟田 裕子[1,3]、梅野 智子[1,3]、岩本 まり[1]、高橋 郁[1]、土山 修治[1]、坂本 亘[1]、坂口 香織[1]、中川 佳子[1]、鳥越 大輔[2]、竹尾 透[1]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究･支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 熊本大学生命資源研究･支援センター（CARD）病態遺伝分野、[3] 九動株式会社

**1B20　パスツール研究所における国際マウス生殖工学技術研修会**

○中牟田 裕子[1,2]、山下 紀代子[1,2]、春口 幸恵[1,2]、近藤 朋子[1,2]、竹下 由美[1,2]、梅野 智子[1,2]、石田 恵理[1,2]、岩本 まり[1]、高橋 郁[1]、土山 修治[1]、椋木 歩[1]、吉本 英高[1]、竹尾 透[1]、Kristy Williams[3]、Jorge Sztein[4], Lluis Montoliu[5]、Jean Jaubert[6]、Franck Bourgade[6]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 九動株式会社、[3]Veterinary Genetics Lab, UC Davis Gainesville, FL、[4]Envigo Co. Ltd、[5]CNB, CSIC, Spain、[6]Institut Pasteur, Paris, France

## 【25 日・ポスター C　コアタイム：16：00 ～ 17：30】
## 「疾患モデル」「脳・神経・行動」

**1C01　DBA/2N-*mdx* と関連系統との体重・臓器重量の比較解析**

○金子 結[1]、何 裕遥[1]、保田 昌彦[1]、位高 美香[1]、下村 千恵[2]、水澤 卓馬[1]、米田 直央[1]、後藤 貴之[2]、小倉 智幸[1]、川井 健司[1]、高橋 利一[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所、[2] 日本クレア株式会社

**1C02　DBA/2N-*mdx*、DBA/2N での筋力測定（Wire Hanging Test）による比較解析**

○何 裕遥[1]、保田 昌彦[1]、小倉 智幸[1]、後藤 貴之[2]、水澤 卓馬[1]、金子 結[1]、位高 美香[1]、後藤 元人[1]、川井 健司[1]、高橋 利一[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所、[2] 日本クレア株式会社

**1C03　DMD モデル DBA/2N-*mdx* マウスにおける背景データの比較解析**

○保田 昌彦[1]、何 裕遥[1]、後藤 貴之[2]、位高 美香[1]、鎌井 陽子[1]、下村 千恵[2]、水澤 卓馬[1]、後藤 元人[1]、小倉 智幸[1]、高橋 利一[1]、川井 健司[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所、[2] 日本クレア株式会社

**1C04　脳特異的ヘテロクロマチンプロテイン１（HP1）欠損マウスにおける行動障害**

○吉原 亨、堀家 康太、成瀬 智恵、浅野 雅秀
京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

**1C05　NER におけるてんかん原性に関与する遺伝子**

○芹川 忠夫[1,2]、庫本 高志[3]、フォークト ビルガー[3]、中西 聡[3]、北田 一博[4]、中村 正[5,6]、若松 馨[5]、上村 里彩[7]、田中 美有[3,7]、桑村 充[7]、清水 佐紀[2]、大野 行弘[2]、笹 征史[1,8]
[1] 京都疾患モデル研究所、[2] 大阪薬科大学、[3] 京都大学、[4] 北海道大学、[5] 群馬大学、[6] アピ株式会社、[7] 大阪府立大学、[8] 渚クリニック

**1C06　肥満・2 型糖尿病モデル ZFDM ラットにおけるインクレチン応答性インスリン分泌障害の発症機序**

○横井 伯英[1]、速水 智英[1]、本田 洸平[1]、山口 拓郎[1]、グプルジャン ゲニ[1]、マヒラ アシム[1]、日高 志保美[1]、川畑 綾子[1]、星野 貴一[2]、星野 雅行[2]、清野 進[1]
[1] 神戸大学大学院医学研究科 分子代謝医学、[2] 株式会社星野試験動物飼育所

**1C07　糖尿病予備軍モデルマウスにおける NKT 細胞の動態解析**

○斉藤 美佳子、冠城 美早子
東京農工大学大学院生命工学専攻

**1C08　2 型糖尿病モデル db/db マウスにおける臼歯咬合面摩耗と唾液腺機能障害の関連性について**

○白樫 聡真、尾崎 清和、松浦 哲郎
摂南大学薬学部 病理学研究室

**1C09　2 型糖尿病 db/db マウスの齲蝕抑制―フッ素投与による糖尿病性歯周病の検出―**

○松浦 哲郎、車古 奈々、尾崎 清和
摂南大学薬学部

**1C10　高血圧自然発症ラット（SHR）における GABA 富化玄米の血圧降下作用**

○川上 浩平[1]、山田 和夫[2]、山田 高也[1]、野村 正人[3]
[1] 島根大・実験動物、[2] 島根大・医・法、[3] 近畿大・工

**1C11　Increased salt intakes have an insignificant effect on amelioration in renal cystic disease progression in PCK rats with high water intakes**

○ Masanori Kugita[1], Tamio Yamaguchi[2], Yoichi Nagamura[2], Shizuko Nagao[1]
[1]Education and Research Center of Animal Models for Human Disease, Fujita Health University, [2]Department of Clinical Nutrition, Suzuka University of Medical

**1C12　WHHLMI ウサギの各種動脈における動脈硬化病変の発生状況**

○塩見 雅志[1,2]、塚田 紀恵[1]、中川 貴之[1]
[1] 神戸大学医学研究科 疾患モデル動物病態生理学分野、[2] 神戸大学医学研究科附属動物実験施設

**1C13　Therapeutic role of *Asparagus cochinchinensis* extract as a NGF stimulator and anti-oxidant in the Tg2576 model for Alzheimer's disease**

○ Bo Ram Song[1], Hyun Ah Lee[1], Ji Eun Kim[1], Ji Eun Sung[1], Woo Bin Yun[1], Jun Young Choi[1], Mi Rim Lee[1], Jin Ju Park[1], Hye Ryeong Kim[1], Dong Seob Kim[1], Hee Seob Lee[2], Dae Youn Hwang[1]
[1]Department of Biomaterials Science, Pusan National University, [2]College of Pharmacy, Chungbuk National University

**1C14　エピガロカテキン 3- ガレート・フェルラ酸の併用投与によるアルツハイマー様病態改善の加算効果**

○小山 直基、森 隆
埼玉医科大学総合医療センター 研究部

**1C15　APP × PS2 ダブルトランスジェニックマウスを用いたヘルペスウイルス潜伏感染下アルツハイマー病モデル**

○田中 聖一[1]、高屋敷 優子[2]、永島 博[2]
[1] 福岡大学アニマルセンター、[2] 株式会社アニマルケア

**1C16　ヒト臨床検体由来がん細胞・組織を用いた担がんマウスモデルのカタログ化**

○土橋 悠[1]、小澤 和典[1,2]、今井 順一[1]、片平 清昭[1]、渡辺 慎哉[1]
[1] 福島県立医科大学医療 - 産業 TR センター、[2] 福島県立医科大学実験動物研究施設

**1C17　Differential expression pattern of epithelial-type galectins in unique mouse model of gastric cancer**

○ Mark Joseph M. Desamero[1,2], Shigeru Kakuta[1], James Chambers[3], Kazuyuki Uchida[3], Junko Nio-Kobayashi[4], Jun Nakayama[5], Shigeru Kyuwa[1]
[1]Dept. Biomed. Sci., Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, [2]Dept Basic Vet. Sci. Col. Vet. Med., Univ Philippines Los Baños, [3]Dep. Vet. Pathol. Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, [4]Lab. Histol. Cytol. Grad. Sch. Med., Hokkaido Univ, [5]Dept. Mol. Pathol., Shinshu Univ. Grad. Sch. Med.

**1C18　環境エンリッチメント下で飼育したマウスにおけるがん増殖抑制の検討**

○荒田 悟[1,2]、渡邊 潤[1]、松橋 秀人[2]、加賀美 信幸[2]
[1]昭和大学遺伝子組換え実験室、[2]昭和大学動物実験施設

**【25 日・ポスター D　コアタイム：16：00 ～ 17：30】**
「管理・施設・倫理・福祉」「実験手技・代替・麻酔・鎮痛」「栄養・生理・生化学」
「加齢・老化」「繁殖・系統開発」「発生工学」「微生物・感染・免疫／疾患モデル」

**1D01　Case Report: Feeding Program for Excessive Weight Loss after Phalange-injured Common Marmoset (*Callithrix jacchus*)**

○ Euna Kwon[1], Jae-Bum Ahn[1,2], Jae Hun Ahn[1,2], Jun-Won Yun[1], Byeong-Cheol Kang[1,2]
[1]Department of Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National Univ. Hospital, Seoul, Korea, [2]Graduate School of Translational Medicine, Seoul National Univ. College of Medicine, Seoul, Korea

**1D02　先天性心疾患により右心不全を呈したカニクイザルの一例**

○若松 尊[1]、中山 駿矢[1,2]、鯉江 洋[1]、金山 喜一[1]、片貝 祐子[3]、揚山 直英[2]
[1]日本大学生物資源科学部、[2]医薬基盤・健康・栄養研究所、[3]一般社団法人予防衛生協会

**1D03　誘導結合プラズマ発光分光分析装置を用いた心疾患カニクイザルにおける被毛中元素の特徴的所見**

○中山 駿矢[1,2]、鯉江 洋[1]、金山 喜一[1]、片貝 祐子[3]、山海 直[2]、保富 康宏[2]、揚山 直英[2]
[1]日本大学・獣医生理、[2]医薬基盤・健康・栄養研究所、[3]一般社団法人予防衛生協会

**1D04　コモンマーモセットにおける *Clostridium difficile* 感染症に対する糞便細菌叢移植材料の安全性評価**

○野津 量子[1]、井上 貴史[2]、佐藤 賢哉[2]、林元 展人[1]
公益財団法人実験動物中央研究所 [1]ICLAS モニタリングセンター、[2]マーモセット研究部

**1D05　ウェイスティングマーモセットシンドロームにおけるトラネキサム酸および対症療法による治療効果**

○新美 君枝、吉本 拓郎、高橋 英機
理化学研究所 脳科学総合研究センター 動物資源開発支援ユニット

**1D06　給餌量の減量によるカニクイザル肥満解消とケタミン投与後行動の変化**

○保倉 智恵、北條 隆男、野牧 博通、門内 誠
株式会社中外医科学研究所 鎌倉 vivo 実験グループ

**1D07　I 型糖尿病カニクイザル（ストレプトゾトシン誘発）モデルの作製および維持について**

○赤荻 誠一郎、倉石 武、藤白 雅人、小田 康弘、鈴木 正一
ハムリー株式会社 筑波研究センター 試験研究所

**1D08　カニクイザルにおける子宮内膜症モデルの作出と観察手法**

○山海 直[1]、根津 幸穂[2]、西本（垣内）綾子[3]、谷村 博美[3]、谷口 健治[3]、伊藤 恒夫[3]、加藤 淳彦[3]、湯澤 和明[1]、伊東 彩[1]、岡林 佐知[1]、今野 良[2]
[1]医薬基盤・健康・栄養研究所、[2]自治医科大学、[3]中外製薬株式会社

**1D09　コモンマーモセットにおけるチオアセトアミド投与による肝線維症誘導**

○佐々木 絵美[1]、呂 軍[2]、霜田 雅之[2]、井上 貴史[1]、峰重 隆幸[1]、柳瀬 幹雄[2]、石坂 幸人[2]、佐々木 えりか[1,3]
[1]公益財団法人実験動物中央研究所、[2]国立国際医療研究センター研究所、[3]慶應義塾大学

**1D10　超音波診断装置による高齢コモンマーモセット動脈血管抵抗の評価**

○李 佳穎[1]、野呂 隆彦[2]、石場 彩乃[1]、井上 貴史[1]、峰重 隆幸[1]、岡原 則夫[1]、橋本 菜名子[2]、原田 高幸[2]、佐々木 えりか[1,3]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所、[2] 公益財団法人東京都医学総合研究所、[3] 慶應義塾大学先導研究センター

**1D11　カニクイザル対する瞼板縫合術の適用**

○橋川 美子[1]、山口 美智代[1]、小薮 望[1]、梶川 幸子[1]、廣瀬 忠昭[1]、金子 司郎[2]、田島 優[1]、西田 幸二[3]
[1] 大阪大学大学院医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター 中大動物実験施設、[2] 大阪大学医学部付属動物実験施設、[3] 大阪大学医学系研究科 脳神経感覚器外科学

**1D12　カニクイザルの膣内から検出される低級脂肪酸である酪酸と妊娠能力の関係**

○小林 麻衣子[1]、小山 高正[1]、渕野 裕之[2]、保富 康宏[2]、山海 直[2]
[1] 日本女子大学、[2] 医薬基盤・健康・栄養研究所

**1D13　発生工学的手法を用いたマーモセット世代短縮技術の開発**

○越後貫 成美[1]、葛西 秀俊[2]、井上 弘貴[1]、饗場 篤[2]、小倉 淳郎[1,2,3]
[1] 理研・バイオリソースセンター、[2] 東大・院・医、[3] 筑波大・院・生命環境科学

**1D14　GnRH antagonist を用いたカニクイザル卵巣刺激法の検討**

○下澤 律浩
医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター

**1D15　Effect of Blue LED Light on the Growth of a Somatic Cell**

○ Mohammad Abu Jafor Bapary, Aya Ito, Jun-ichiro Takano, Shogo Soma, Tadashi Sankai
National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

**1D16　ラットにおける老化バイオマーカーの探索**

○冨田 耕平[1]、田村 慎哉[1]、谷井 駿一[1]、高野 聡美[2]、六車 香織[2]、小木曽 昇[2]
[1] 株式会社ケー・エー・シー、[2] 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室

**1D17　国立長寿研における自然老化マウスの基礎データの蓄積**

○小木曽 昇[1]、六車 香織[1]、髙野 聡美[1]、冨田 耕平[2]、山口 一路[2]、松井 直美[3]、丸山 光生[3]
[1] 国立長寿研・実験動物管理室、[2] 株式会社ケー・エー・シー、[3] 国立長寿研・老化機構研究部

**1D18　当研究室で保管されている老化動物種から樹立した筋組織由来線維芽細胞の評価系の確立**

○鷲津 朱理[1]、東 里香[2]、野田 義博[3]、久保 盛恵[4]、野々上 範之[4]、小笠原 里奈[1]、小木曽 力[1]、細井 美彦[1,2,5]、松本 和也[1,2]、安齋 政幸[2,5]
[1] 近畿大学生物理工学部、[2] 近畿大学大学院生物理工学研究科、[3] 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 実験動物施設、[4] 広島市安佐動物園、[5] 近畿大学先端技術総合研究所

**1D19　カドヘリン 23 の c.753 遺伝子型が異なる C57BL/6J マウス間の加齢に伴う聴力表現型の比較**

○鈴木 沙理[1]、宮坂 勇輝[1,2]、関 優太[1]、安田 俊平[1]、松岡 邦枝[1]、設楽 浩志[1]、吉川 欣亮[1]
[1] 公益財団法人東京都医学総合研究所、[2] 名古屋大学

## 【26 日・ポスター A　コアタイム　16：00 ～ 17：30】
## 「遺伝・育種・遺伝子機能」「疾患モデル」

**2A01　染色体特異的にクラスターを形成しているトラップ領域（CSCT）の解析**
○荒木 正健、武田 伊世、大賀 俊範、江藤 聡、中原 舞、吉信 公美子、荒木 喜美
熊本大学生命資源研究・支援センター

**2A02　神経幹細胞におけるヘテロクロマチンプロテイン 1（HP1）の機能解析**
○成瀬 智恵[1]、吉原 亨[1]、阿部 可奈恵[2]、加藤 智明[3]、西内 巧[3]、浅野 雅秀[1]
[1] 京大・院・医・動物実験、[2] 金沢大・学際セ・遺伝子改変動物、[3] 金沢大・学際セ・ゲノム

**2A03　人工刷り込み制御配列によるゲノム刷り込みの再構築**
○倉持 大地[1]、松崎 仁美[2,3]、牛木 亜季[1]、谷本 啓司[2,3]
[1] 筑波大・院・生命環境、[2] 筑波大・生命環境系、[3] 筑波大・TARA センター

**2A04　IZUMO1 の細胞内領域はマウスの生殖能力に必須ではない**
○宮田 治彦[1]、Samantha A.M. Young[1,2]、佐藤 裕公[1]、武藤 真長[1]、Martin R. Larsen[3]、R. John Aitken[2]、Mark A. Baker[2]、伊川 正人[1]
[1] 大阪大学微生物病研究所、[2] ニューカッスル大学、[3] 南デンマーク大学

**2A05　Generation of point mutant mouse model responsible for human globozoospermia by CRISPR/Cas9 system**
○ Yoshitaka Fujihara, Asami Oji, Kanako Kita, Masahito Ikawa
Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University

**2A06　ラットアクロシンの受精における役割**
○磯谷 綾子[1,2]、松村 貴史[1]、小川 昌起[1]、田中 嵩大[1]、山縣 一夫[1,3]、伊川 正人[1]、岡部 勝[1]
[1] 大阪大学、[2] 奈良先端科学技術大学院大学、[3] 近畿大学

**2A07　Screening for extracellular matrix factors that may concern in male fertility**
○ Daiji Kiyozumi, Tomohiro Tobita, Ryo Yamaguchi, Masaru Okabe, Masahito Ikawa
Research Institute for Microbial Diseases, Osaka Univ.

**2A08　RNA-seq を用いたマウスの従順性に関わる遺伝的基盤の解明**
○松本 悠貴[1,2]、中岡 博史[1,3]、永山 博通[1,2]、小出 剛[1,2]
[1] 国立遺伝学研究所 マウス開発研究室、[2] 総合研究大学院大学生命科学研究科、[3] 国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門

**2A09　マウス 12 番染色体上に存在する新規加齢性難聴修飾遺伝子の探索**
○安田 俊平[1]、小原 央[1]、鈴木 沙理[1]、高田 豊行[2]、城石 俊彦[2]、吉川 欣亮[1]
[1] 東京都医学総合研究所、[2] 国立遺伝学研究所

**2A10　NAK/Nokh ラットの無眼球症に関与する遺伝子群の探索**
○和田 健太、宗形 春花、内山 博允、大久保 咲、渡邉 真、阿部 明弘、吉川 欣亮
東京農業大学生物産業学部

**2A11　遺伝子欠損マウスを用いた *Dnase1l2* の遺伝子機能解析―加齢性解析、及びヒト 16p13 微小欠損症との関連について―**
○田村 勝、小澤 恵代、尾崎 真央、若菜 茂晴
理化学研究所 バイオリソースセンター マウス表現型解析開発チーム

**2A12　高速遺伝子プロファイリングシステムによる遺伝子改変マウス系統の遺伝的背景モニタリング**
○三浦 郁生、篠木 晶子、臼田 大輝、鈴木 智広、金田 秀貴、小林 喜美男、田村 勝、若菜 茂晴
理化学研究所 バイオリソースセンター

**2A13　SNP 解析を用いた近交系マウスの遺伝プロファイル**
○山本 真史、林元 展人、高橋 利一、末水 洋志
公益財団法人実験動物中央研究所

**2A14　量的相補性検定によるマウスの腎臓重量に関わる量的形質遺伝子（QTG）の同定**
○牧野 圭汰、石川 明
名古屋大学大学院生命農学研究科

**2A15　*K-rasG12V*-mediated lung tumor models identified new quantitative trait loci modifying events post-*K-ras* mutation**
○ Hiromitsu Saito, Noboru Suzuki
Dept. of Animal Genomics Mie univ. Adovanced Sci. Res. Promortion center

**2A16　HPV 由来 E6 ／ E7 および Wapl による発ガン機構解析**
○熊谷 勝義[1]、高梨 正勝[2]、大野 慎一郎[2]、須藤 カツ子[1]、黒田 雅彦[2]
[1] 東京医科大学疾患モデル研究センター、[2] 東京医科大学分子病理学分野

**2A17　レニン遺伝子の高血圧環境応答性 *cis*-DNA 配列の解析**
○牛木 亜季[1]、松﨑 仁美[2,3]、深水 昭吉[2,3]、谷本 啓司[2,3]
[1] 筑波大・院・生命環境、[2] 筑波大・生命環境系、[3] 筑波大・TARA センター

**2A18　Tensin2 の各ドメイン変異マウスを用いた腎症発症機序解明への試み**
高橋 悠記[1]、○丸杉 貴世馬[1]、中野 堅太[1,2]、金田 理穂[1]、大川原 志織[1]、佐々木 隼人[1]、高梨 理絵子[2]、岡村 匡史[2]、佐々木 宣哉[1]
[1] 北里大学獣医学部 実験動物学研究室、[2] 国立国際医療研究センター研究所 実験動物管理室

**2A19　子宮内 *in vivo* imaging のためのヘアレスマウスの作製方法**
○星野 貴一[1,2]、加藤 花名子[1]、水野 沙織[1]、谷本 陽子[1]、石田 みゆき[1]、逆井 智貴[1]、三輪 佳宏[1]、高橋 智[1]、八神 健一[1]、水野 聖哉[1]、杉山 文博[1]
[1] 筑波大学生命科学動物資源センター、[2] 株式会社星野試験動物飼育所

## 【26 日・ポスター B　コアタイム　16：00 ～ 17：30】
## 「発生工学」

**2B01　遺伝子ノックインのための新たなゲノム領域 FN-Locus の探索と解析**
○南地 勇[1,2]、吉村 祐貴[2,4]、中村 和臣[3]、真砂 勇作[1]、大林 徹也[3]、奥田 智彦[1]
[1] 塩野義製薬、[2] 鳥大・院医、[3] 鳥大・生命機能研究支援セ、[4] 実中研

**2B02　マウスにおける新規部位特異的組換えシステム VCre/VloxP、SCre/SloxP の特異性と有効性に関する検討**
○吉村 祐貴[1]、伊田 幸[1]、後藤 元人[1]、川井 健司[1]、高橋 武司[1]、中山 学[2]、伊藤 守[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所、[2] 公益財団法人かずさ DNA 研究所

**2B03　CRISPR/Cas9 システムによるゲノム編集**
○中村 衣里、多田 昇弘
順天堂大学大学院老人性疾患病態・治療研究センター

**2B04　CRISPR/Cas9 システムを用いたノックインマウス作製の試み**
○都留 英美[1]、溝渕 雅章[1,2]、久川 清仁[1,2]、延本 篤也[1,2]、茂川 拓紀[1,2]、津田 雅之[1]
[1] 高知大学総合研究センター 動物資源開発分野、[2] 高知大学設備サポート戦略室

**2B05　長鎖一本鎖 DNA を用いたリピート配列改変マウスの作製**
○吉見 一人、田邉 彰、今井 悠二、二瓶 基子、小出 剛
国立遺伝学研究所 系統生物研究センター マウス開発研究室

**2B06　CRISPR/Cas9 を用いた *Gdf9-BiCre* ノックインマウスの開発**
○水野 聖哉、長谷川 賀一、加藤 花名子、飯島 沙織、大徳 陽子、谷本 陽子、
Abdelaziz Elsayed Ibrahim Elzeftawy、高橋 智、八神 健一、杉山 文博
筑波大学生命科学動物資源センター

**2B07　CRISPR-Cas システムを用いたノックインマウス作製における凍結受精卵培養時間の検討**

○中川 佳子[1]、佐久間 哲史[2]、西道 教尚[3]、横崎 恭之[3]、若松 和子[1]、春口 幸恵[1,4]、近藤 朋子[1,4]、竹下 由美[1,4]、中牟田 裕子[1,4]、石田 恵理[1,4]、坂本 亘[1]、土山 修治[1]、竹尾 透[1]、山本 卓[2]、中潟 直己[1]
[1]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2]広島大学大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻 分子遺伝学研究室、[3]広島大学保険管理センター インテグリン治療開発フロンティア研究室、[4]九動株式会社

**2B08　エレクトロポレーション法による受精卵ゲノム編集**

○中尾 和貴、中尾 晴美、饗場 篤
東京大学大学院医学系研究科 動物資源研究領域

**2B09　エレクトロポレーション法を用いたゲノム編集マウスの作出**

○柳原 裕太、佐伯 法学、奥川 健一、山内 国義、大野 一成、浦岡 彩、白石 裕樹、今井 祐記
愛媛大学学術支援センター 動物実験部門

**2B10　エレクトロポレーションと凍結胚を用いた CRISPR/Cas9 システムによるゲノム編集マウスの作出**

○夘野 善弘[1]、國廣 弥生[1]、小谷 祐子[1]、真下 知士[1,2]
[1]大阪大学大学院医学系研究科附属動物実験施設 生殖工学ユニット、[2]大阪大学大学院医学系研究科附属共同研ゲノム編集センター

**2B11　CRISPR/Cas9 によるノックインラットの効率的作製**

○宮坂 佳樹[1]、服部 晃佑[1]、夘野 善弘[1]、真下 知士[1,2]
[1]阪大院・医・附属動物実験施設、[2]阪大院・共同研・ゲノム編集センター

**2B12　エレクトロポレーション法を用いたゲノム編集動物作製法の改良**

○金子 武人
京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

**2B13　FGF2 は未分化型精原細胞の細胞運命決定に関与する**

○高島 誠司[1,2]、正木 魁人[1,2]、城 潤一郎[3]、田畑 泰彦[3]
[1]信州大学繊維学部 応用生物科学科、[2]信州大学大学院総合理工学研究科、[3]京都大学ウイルス・再生医科学研究所

**2B14　両生類における生殖幹細胞凍結保存法の開発と代理親への移植**

○関 信輔[1]、柏木 啓子[2]、花田 秀樹[2]、笹土 隆雄[3]、成瀬 清[4,5]、柏木 昭彦[2]
[1]秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター、[2]広島大学両生類研究センター、[3]東京学芸大学自然科学系 基礎自然科学講座、[4]自然科学研究機構基礎生物学研究所 進化多様性生物学領域バイオリソース研究室、[5]自然科学研究機構基礎生物学研究所 IBBP センター

**2B15　ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤が異種間核移植胚の発生能に与える影響**

○東 里香[1]、村井 仁志[2]、小笠原 里奈[3]、小木曽 力[3]、鷲津 朱理[3]、宮本 圭[3]、宮下 実[4]、松本 和也[1,3]、細井 美彦[1,3,5]、安齋 政幸[1,5]
[1]近畿大学大学院生物理工学研究科、[2]富山市ファミリーパーク、[3]近畿大学生物理工学部、[4]宇部市ときわ動物園、[5]近畿大学先端技術総合研究所

**2B16　ES cell derivation is affected by the genetic background**

○ Satoshi Ohtsuka[1], Hitoshi Niwa[2], Yuki Kaneko[1], Yasuhito Ishigaki[1]
[1]Medical Research Institute, Kanazawa Medical University, [2]Dept. of Pluripotent Stem Cell Biology, Institute of Molecular Embryology and Genetics, Kumamoto University

**2B17　心筋症モデルマウス（4C30）のフィーダーフリー ES 細胞の樹立の試み**

○鈴木 治、小浦 美奈子、内尾 こずえ、佐々木 光穂、河相 晶子、鶴見 東志子
医薬健栄養研・疾患モデル

**2B18　異種間胚盤胞補完法を用いたマウス ES 細胞に由来する腎臓のラット体内での再生**

○後藤 哲平[1]、三寶 誠[1]、保地 眞一[2]、中内 啓光[3]、平林 真澄[1]
[1]生理学研究所 行動・代謝分子解析センター、[2]信州大学繊維学部、[3]東京大学医科学研究所

**2B19　リプログラミング 6 因子の発現によるブタ iPS 細胞の作製と特徴**

○福田 智一[1]、谷 哲弥[2]、原口 清輝[3]、土内 憲一郎[4]、中嶋 信美[5]、上西 博英[6]、永塚 貴弘[7]、宮川 誠[8]、宋 相憲[9]、大沼 学[10]、星野 由美[11]、佐藤 英明[12]、本多 新[13]
[1] 岩手大学理工学部／連合農学研究科、[2] 近畿大学農学部、[3] 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 動物機能利用研究領域 動物機能改変ユニット、[4] 東北大学農学研究科、[5] 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 環境ゲノム科学研究推進室、[6] 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 動物機能利用研究領域 動物生体防御ユニット、[7] 新潟薬科大学応用生命科学部 栄養生化学研究室、[8] 帝京大学中央実験動物施設、[9] 島根大学生物資源科学部、[10] 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価 対策研究室、[11] 広島大学生物生産学部、[12] 家畜改良センター、[13] 宮崎大学テニュアトラック推進機構

**2B20　トリプル CRISPR 法による第一世代両アリル完全ノックアウトマウス作製**

○隅山 健太、砂川 玄志郎、鵜飼（蓼沼）磨貴、ディミトリー ペリン、上田 泰己
理化学研究所 生命システム研究センター

## 【26 日・ポスター C　コアタイム　16：00 ～ 17：30】
## 「栄養・生理・生化学」「疾患モデル」

**2C01　ラットを用いた縮小条虫の虫体重量に影響を与える宿主因子の解析**

○大野 民生[1]、甲斐 巧也[1]、宮坂 勇輝[1]、石井 明[2]、記野 秀人[2]
[1] 名大・院・医・実験動物、[2] 浜松医大・感染症学

**2C02　作用機序の異なる抗生剤投与のマウス慢性肥厚性カンジダ症への影響**

○尾西 一晃、吉田 汐里、森尾 剛、大嶋 成奈優、山際 高史、寺山 由依、松浦 哲郎、尾崎 清和
摂南大学薬学部

**2C03　*Lactobacillus casei* 菌体由来物質投与による川崎病類似マウス血管炎モデル**

○菅沼 栄介[1]、上島 洋二[1]、佐藤 智[1]、髙野 忠将[1]、山口 明[2]、荒井 孝[2]、川野 豊[1]
埼玉県立小児医療センター 感染免疫科[1] アレルギー科、[2] 臨床研究室

**2C04　分泌型非特異的リボヌクレアーゼ遺伝子欠損マウスは免疫異常を呈する**

○角田 茂[1]、小川 哲弘[2]、藤井 渉[3]、チェンバーズ ジェームズ[4]、餅井 愼太郎[1]、平林 美幸[4]、秋津 葵[5]、村山 正承[5]、中山 裕之[4]、岩倉 洋一郎[5]、久和 茂[1]
東大・院・農　[1] 実験動物、[2] 分子育種、[3] 応用遺伝、[4] 獣医病理、[5] 東京理科大 生命研・ヒト疾患モデル

**2C05　抗原特異的 CD4 陽性 T 細胞由来の核移植クローンマウス作製**

○井上 貴美子[1,2]、神沼 修[1,3,4]、越後 貫成美[1]、上村 悟氏[1]、及川 真実[1]、的場 章悟[1]、廣井 隆親[3]、小倉 淳郎[1,2]
[1] 理化学研究所、[2] 筑波大学大学院、[3] 公益財団法人東京都医学総合研究所、[4] 山梨大学

**2C06　抗原特異的 CD4 陽性 T 細胞由来クローンマウスのアレルギー性気道炎症**

○神沼 修[1,2,3]、井上 貴美子[1,4]、佐伯 真弓[1,2]、西村 友枝[2]、北村 紀子[2]、森 晶夫[5]、廣井 隆親[2]、小倉 淳郎[1,4]
[1] 理化学研究所、[2] 公益財団法人東京都医学総合研究所、[3] 山梨大学、[4] 筑波大学大学院、[5] 国立病院機構相模原病院

**2C07　アトピー性皮膚炎モデルラットにおけるハプテン誘発皮膚炎**

○庫本 高志、横江 繭子
京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

**2C08　iPS 細胞を用いた遺伝性難聴疾患モデル細胞の開発**

福永 一朗、藤本 あゆみ、畠山 佳欧理、池田 勝久、○神谷 和作
順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学講座

**2C09　$Ca^{2+}$ 結合タンパク質 Oncomodulin は内耳外有毛細胞の維持に機能する**

○松岡 邦枝[1]、宮坂 勇輝[1,2]、和田 健太[3]、安田 俊平[1]、設楽 浩志[1]、多屋 長治[1]、吉川 欣亮[1]
[1] 公益財団法人東京都医学総合研究所、[2] 名古屋大学、[3] 東京農業大学

**2C10　mtDNA に病原性突然変異を有するミトコンドリア病モデルマウスの作出及び解析**
○谷 春菜[1]、石川 香[2]、清水 章文[1]、三藤 崇行[2]、林 純一[2]、中田 和人[2]
[1] 筑波大・院・生命環境、[2] 筑波大・生命環境

**2C11　常染色体劣性形質を示す雄性生殖器疾患モデルマウスの開発**
○金田 秀貴[1]、三浦 郁生[1]、福村 龍太郎[1]、綾部 信哉[1]、鈴木 智広[1]、古瀬 民生[1]、山田 郁子[1]、小林 喜美男[1]、山田 源[2]、吉木 淳[1]、権藤 洋一[1]、若菜 茂晴[1]
[1] 理化学研究所 バイオリソースセンター、[2] 和歌山県立医科大学先端医学研究所

**2C12　マウス原始卵胞における Prmt5 の機能は卵成熟に必須である**
○鈴木 仁美[1]、鈴木 敦[2]、仲 拓馬[2]、Aleksandar Rajkovic[3]、金井 正美[1]
[1] 東京医科歯科大学、[2] 横浜国立大学、[3] University of Pittsburgh

**2C13　*Sox17* ヘテロ変異着床不全マウスにおける子宮上皮遺伝子の発現変化**
○平手 良和[1]、早川 佳那[1]、豊村 友賀[1]、五十嵐 瞳[2]、三浦 健人[2]、金井 克晃[2]、金井 正美[1]
[1] 東京医科歯科大学実験動物センター、[2] 東京大学・獣医解剖

**2C14　新型エーラスダンロス症候群のモデル動物としての *Chst14* 遺伝子欠損マウス胎盤の解析**
○吉沢 隆浩[1]、高橋 有希[2]、嶋田 新[1]、水本 秀二[3]、松本 清司[1]、古庄 知己[2]
[1] 信州大学基盤研究支援センター 動物実験支援部門、[2] 信州大学医学部付属病院 遺伝子医療研究センター、[3] 名城大学薬学部病態生化学研究室

**2C15　小眼、臍帯ヘルニア及び呼吸不全を併発する新規変異マウスの原因遺伝子機能解析**
○鈴木 智広、金田 秀貴、小林 喜美男、三浦 郁生、古瀬 民生、山田 郁子、田村 勝、若菜 茂晴
理化学研究所 バイオリソースセンター

**2C16　眼色と毛色の加齢変化を伴う新奇 pink-eyed dilution マウスにおけるメラノサイトの分化**
○石川 明[1]、広部 知久[2]
[1] 名大・院・生命農学応用遺伝・生理学、[2] 放医研・分子イメージング

**2C17　ヒツジを用いた脊椎椎間板の部分欠損モデルの作製および飼育管理について**
○青木 樹里、本田 晴哉、肥髙 智成、入矢 竜一、山中 甲子朗、鈴木 信夫、関 あずさ、小田 康弘
ハムリー株式会社 筑波研究センター 試験研究所

**2C18　Cathepsin S over-expressed transgenic mice manifests excessive autoimmune responses and renal disorders**
○ Jinhee Lee, Zae Young Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

**2C19　The expression of Lin28a protects streptozotocin-induced beta-cell destroy, preventing type 1 diabetes in mice**
○ Yong Hun Sung, Zae Young Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

**2C20　JAZF1 can regulate the expression of lipid metabolic genes and required for adipogenesis**
○ Jain Jeong, Zae Young Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

**2C21　hMAGEA2 promotes progression of breast cancer by regulating Akt and Erk1/2 pathways**
○ Song Park, Zae Woong Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

## 【26 日・ポスター D　コアタイム　16：00 ～ 17：30】
「微生物・感染・免疫」「バイオリソース」

**2D01　免疫系ヒト化マウスを用いた麻疹ウイルスの小動物感染モデル**
○中西 友子[1,2]、米田 美佐子[1]、藤幸 知子[1]、雨貝 陽介[1]、斎藤 泉[2]、甲斐 知恵子[1]
東京大学医科学研究所 [1] 実験動物研究施設、[2] 遺伝子解析施設

**2D02　妊娠ヒト化マウスにおけるＴ細胞の動態解析**

○大野 裕介、小島 美香、木南 理仁、亀谷 美恵
東海大学医学部 基礎医学系 分子生命科学

**2D03　犬アレルゲン（Can f 1）感作誘導による免疫応答に関する卵白アルブミン（OVA）との比較解析**

○土佐 紀子[1]、吉松 組子[2]、有川 二郎[1,2]
[1] 北海道大学大学院医学研究科附属動物実験施設、[2] 北海道大学大学院医学研究科 病原微生物学分野

**2D04　キンギョを用いた抗体作製法の開発**

額田 夏生[1]、百瀬 直樹[2]、○田丸 浩[1,2,3]
[1] 三重大・院・生資、[2] 三重大・先端科研支セ、[3] 三重大・新産業創成

**2D05　日本国内の動物実験施設のマウスにおける Murine astrovirus の疫学調査**

○森田 華子[1]、山本 真史[1]、小牧 悠里[1]、保田 昌彦[2]、林元 展人[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、[2] 公益財団法人実験動物中央研究所 病理解析センター

**2D06　マウス主要感染症血清モニタリング用イムノクロマト法の開発**

土佐 紀子[1]、吉松 組子[2]、石田 智子[3]、林元 展人[3]、塩川 愛絵[2]、高倉 彰[3]、○有川 二郎[1,2]
[1] 北海道大学大学院医学研究科附属動物実験施設、
[2] 北海道大学大学院医学研究科 病原微生物学分野、[3] 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター

**2D07　マウス肝炎ウイルス（MHV）の抗体検査における培養細胞の影響**

○石田 智子[1]、田中 舞[1]、渡邊 成美[2]、小牧 悠里[1]、林元 展人[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、[2] 株式会社リクルートスタッフィング

**2D08　ELISA 法による非特異反応の検出調査**

○田中 舞[1]、石田 智子[1]、渡邊 成美[2]、小牧 悠里[1]、林元 展人[1]
[1] 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、[2] 株式会社リクルートスタッフィング

**2D09　腸内細菌叢構成解析に用いる糞便 DNA 抽出キットの比較**

○植野 昌未、野津 量子、林元 展人
公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター

**2D10　マウス由来トリコモナスの PCR による検出と rRNA 解析**

○梶田 亜矢子、小川 ちいみ、坂田 ひろみ、平野 直樹、安井 明美、平岩 典子、吉木 淳、池 郁生
理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室

**2D11　多項目自動血球分析装置 XN-30 のマウス・げっ歯類マラリア原虫感染モデルへの応用**

○東岸 任弘[1]、板垣 佐和子[1]、鈴木 裕義[2]、井塚 宗久[2]、青野 圭[2]、岡﨑 智紀[2]、内橋 欣也[2]、
堀井 俊宏[1]
[1] 大阪大学微生物病研究所 分子原虫学、[2] シスメックス株式会社

**2D12　実験動物のマウスにおけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染の疫学調査**

○石山 沙也香、森田 華子、林元 展人
公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター

**2D13　実験動物施設でみられたマウスへのヘリコバクター・ヘパティカス感染と清浄化対応**

○小久保 年章[1]、舘野 香里[2]、飯名 瑞希[2]、大久保 喬司[2]、鬼頭 靖司[1]
[1] 量研機構放射線医学総合研究所 生物研究推進課、[2] 株式会社サイエンス・サービス

**2D14　高度免疫不全 X-SCID ラットにおける致死的感染症とその対応**

○小澤 和典[1,2]、山本 裕子[1]、関口 美穂[1,2]、片平 清昭[1]
[1] 福島県立医科大学医療 - 産業 TR センター、[2] 福島県立医科大学実験動物研究施設

**2D15 Immunoresponses in large intestinal mucosa of mice infected with *Helicobacter japonicum***

○山中 仁木[1]、山根 大毅[1]、増山 律子[2]、髙木 利一[1]、大沢 牧子[1]、久保 憲昭[1]、山本 直土[1]、嶽本 剛平[1]、大沢 一貴[1]
[1] 長崎大学先導生命科学研究支援センター 比較動物医学分野、[2] 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子硬組織生物学分野

**2D16 Pilot study of *Filobacterium rodentium* culture on solid medium**

○ Fumio Ike[1], Ayako Kajita[1], Atsushi Yoshiki[1], Toshiaki Kokubo[2]
[1] Exp. Anim. Div., RIKEN BRC, [2] Lab. Anim. Genome Sci. Sect., Nat. Inst. Radiolog. Sci., QST

**2D17 Hepatic serum amyloid A upregulates IL-17 in gammadelta T cells through Toll-like receptor 2 and is associated with psoriatic symptoms in transgenic mice**

○ Minjee Choi, Zae Young Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

**2D18 Triplex PCR for the simultaneous detection of pathogenic bacteria in respiratory system of rodents**

Dae-Yong Han[1], Eui-Suk Jeong[1], Min-Kyung Park[1], Yang-Kyu Choi[2], Woo Suk Koh[1],
○ Choong-Yong Kim[1]
[1]Laboratory Animal Center, Daegu-Gyeongbuk Medical Innovation Foundation, Daegu, Korea, [2]Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Konkuk University, Seoul, Korea

## 【27 日・ポスター A　コアタイム　11：00 ～ 12：00】
「脳・神経・行動」「解剖・組織・病理・病態」

**3A01　マウスモデルを用いた DOHaD 仮説の実証 6：母体の OCM 関連遺伝子変異が仔の行動表現型に与える影響**

○古瀬 民生、串田 知子、山田 郁子、三浦 郁生、金田 秀貴、小林 喜美男、若菜 茂晴
理研 BRC・日本マウスクリニック

**3A02　神経ペプチド PACAP の高発現マウスにおける恐怖情動の解析**

○田邉 彰[1]、小出 剛[1,2]
[1] 国立遺伝学研究所 マウス開発研究室 , [2] 総合研究大学院大学生命科学研究科 遺伝学専攻

**3A03　Study for behavioral and neural basis of tameness**

○ Hiromichi Nagayama[1,2], Yuki Matsumoto[1,2], Tsuyoshi Koide[1,2]
[1]National institute of genetics, Mouse genomics resource laboratory, [2]The graduate university for advanced studies, genetics

**3A04　*Hcn1* ノックアウトラットにおける運動機能評価**

○西谷 あい[1]、吉原 亨[1]、吉田 裕作[2]、鈴木 登志郎[2]、佐久間 哲史[3]、山本 卓[3]、庫本 高志[1]
[1] 京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、[2] 日本エスエルシー、[3] 広島大学大学院理学研究科

**3A05　脳梗塞傷害後の修復プロセスにおける傷害サイズと系統の影響**

○永井 信夫、井上 みく
長浜バイオ大学アニマルバイオサイエンス学科

**3A06　正常マウスの心筋組織像における系統差について**

○佐々木 隼人[1]、杉山 真言[2]、安藤 亮[3]、佐々木 宣哉[1]
[1] 北里大学獣医学部 実験動物学研究室、[2] 北里大学獣医学部 獣医解剖学研究室、[3] 北里大学獣医学部 獣医病理学研究室

**3A07　マウスにおけるミオシン VI のスプライス部位変異は蝸牛有毛細胞の頂部領域におけるアクチンネットワーク破綻に起因した感覚毛融合へと導く**

○関 優太[1]、宮坂 勇輝[1,2]、鈴木 沙理[1]、吉川 欣亮[1]
[1] 公益財団法人東京都医学総合研究所、[2] 名古屋大学

**3A08　Deficiency of heat shock transcription factor 1 in non-CNS organs is critical for the life span shortening of Huntington's mice**

○ Naoki Hayashida, Masami Momonaka, Yasuko Tokunaga
Department of Bio-Signal Analysis, Yamaguchi University School of Medicine

**3A09　Identification and functional analysis of CABS1 protein in porcine testis**

○ Hisashi Oishi[2,3], Hossam Shawki[1,2], Takumi Kigoshi[1], Yuki Katoh[1,4], Manabu Matsuda[1], Satoru Takahashi[2], Akihiro Kawashima[1]
[1]Laboratory of Reproductive Biochemistry, [2]Department of Anatomy and Embryology, University of Tsukuba, [3]Department of Comparative and Experimental Medicine, Nagoya City University [4]Center for Humanities and Sciences, Ibaraki Prefectural University of Health Sciences

**3A10　Serum amyloid A1 is involved in amyloid plaque aggregation and memory decline in amyloid beta abundant condition**

○ Soyoung Jang, Zae Young Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

**3A11　Tet1 overexpression induce anxiety-like behavior and enhanced fear memories in mice**

○ Wookbong Kwon, Zae Young Ryoo
School of Life sciences, BK21 Plus KNU creative bioresearch group, Kyungpook national university

## 【27 日・ポスター B　コアタイム　11：00 ～ 12：00】
「繁殖・系統開発」

**3B01　無菌 Jcl:MCH（ICR）[Gf] マウスの供給体制の確立（1）生産効率**
○後藤 貴之[1]、保田 昌彦[2]、下村 千恵[1]、伊藤 美穂[1]、田中 寿彦[1]、高橋 香織[1]、奈良部 友紀[3]、位高 美香[2]、何 裕遥[2]、小倉 智幸[2]、高橋 利一[2]、川井 健司[2]、日置 恭司[2]、篠原 秀季[1]
[1] 日本クレア株式会社、[2] 公益財団法人実験動物中央研究所、[3] 株式会社ジェー・エー・シー

**3B02　無菌 Jcl:MCH（ICR）[Gf] マウスの供給体制の確立（2）器官重量データ解析**
○伊藤 美穂[1]、保田 昌彦[2]、後藤 貴之[1]、下村 千恵[1]、田中 寿彦[1]、高橋 香織[1]、奈良部 友紀[3]、位高 美香[2]、何 裕遥[2]、小倉 智幸[2]、高橋 利一[2]、川井 健司[2]、日置 恭司[2]、篠原 秀季[1]
[1] 日本クレア株式会社、[2] 公益財団法人実験動物中央研究所、[3] 株式会社ジェー・エー・シー

**3B03　無菌 Jcl:MCH（ICR）[Gf] マウスの供給体制の確立（3）血液データ解析**
○下村 千恵[1]、後藤 貴之[1]、保田 昌彦[2]、伊藤 美穂[1]、田中 寿彦[1]、高橋 香織[1]、奈良部 友紀[3]、位高 美香[2]、何 裕遥[2]、小倉 智幸[2]、高橋 利一[2]、川井 健司[2]、日置 恭司[2]、篠原 秀季[1]
[1] 日本クレア株式会社、[2] 公益財団法人実験動物中央研究所、[3] 株式会社ジェー・エー・シー

**3B04　高度免疫不全マウス NOD/SCID/JAK3null マウスの産仔数と卵巣組織の関連**
○坂口 摩姫[1,2]、三小田 伸之[1]、宮川 あい[1]、刈谷 龍昇[2]、岡田 誠治[2]、若山 友彦[3]
[1] 九動株式会社、[2] 熊本大学エイズ学研究センター、[3] 熊本大学生体微細構築学分野

**3B05　マイクロミニピッグ集団における SLA クラス II ハプロタイプの年次変化**
○安藤 麻子[1]、今枝 紀明[2]、宮本 あすか[1]、大島 志乃[1]、亀谷 美恵[1]、高須 正規[2]、松原 達也[2]、西飯 直仁[2]、西村 崇史[3]、西村 俊明[3]、北川 均[2]
[1] 東海大学医学部 基礎医学系 分子生命科学、[2] 岐阜大学応用生物科学部 共同獣医学科、[3] 富士マイクラ株式会社

**3B06　近交係数を高めた MMP の世代経過による近交係数の上昇と体型の趨勢**
大竹 正剛、○塩谷 聡子、寒川 彰久、柴田 昌利
静岡県畜産技術研究所 中小家畜研究センター

**3B07　熊本大学動物センターの web サイト運営について**
○土山 修治、岩本 まり、竹尾 透 、中潟 直己
熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野

**3B08　樹脂製ケージトップ（セーフティー・レジンリッド）を用いたマウス飼育実証試験**
○若井 淳[1]、安野 航[2]、尾﨑 順子[3]、小林 秀範[4]、上山 謙一郎[4]、塩谷 明子[4]、大和田 一雄[5]
[1] 岩手医科大学医歯薬総合研究所 実験動物医学研究部門、[2] 岩手医科大学医歯薬総合研究所 動物研究センター、[3] 山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター、[4] 株式会社グロービック、[5] 一般社団法人ふくしま医療機器産業推進機構

## 【27 日・ポスター C　コアタイム　11:00 ～ 12:00】
「栄養・生理・生化学」「薬理・安全性」

**3C01　A novel *in vivo* model for predicting myelotoxicity of chemotherapeutic agents using IL-3/GM-CSF transgenic humanized mice**
○ Ito R[1], Nagai D[2], Igo N[2], Okuda Y[2], Sekine K[2], Ichimura E[2], Katano I[1], Mizushima T[1], Goto M[1], Ohnishi Y[1,3], Ito M[1], Okamoto K[2]
[1]Central Institute for Experimental Animals, [2]Pharmaceutical Research Laboratories, Nippon Kayaku Co., Ltd., [3]In-Vivo Science Inc.

**3C02　神経芽腫の増幅 MYCN 遺伝子を標的とした PI ポリアミド DNA アルキル化剤の抗腫瘍活性と安全性**
○高取 敦志[1]、養田 裕行[1,2]、井上 貴博[2]、渡部 隆義[2]、越川 信子[2]、若菜 茂晴[3]、永瀬 浩喜[1,2]
千葉県がんセンター研究所　[1] がん先進治療開発研究室、[2] がん遺伝創薬研究室、[3] 理化学研究所 バイオリソースセンター

**3C03　ヒト白血病細胞同所性移植モデルにおける secNluc を活用した薬効評価法の検討**
○中村 涼、荒川 仁、丹澤 美貴、門内 誠
株式会社中外医科学研究所 鎌倉ブランチ

**3C04　軟膏を使用したマウス皮膚炎治療の検討について**
○山田 梓、森井 清志、長沼 佑季、和田 聰、橋本 道子、小山 公成
アステラスリサーチテクノロジー株式会社

**3C05　痛みの四要素の評価法**
○安藤 隆一郎、小島 修樹
東北医科薬科大学実験動物センター

**3C06　Laxative effect of saponin-enriched extracts of *Asparagus cochinchinensis* in the loperamide-induced constipation of SD rats**
○ Jin Ju Park[1], Ji Eun Kim[1], Ji Eun Sung[1], Hyun Ah Lee[1], Woo Bin Yun[1], Jun Young Choi[1], Mi Rim Lee[1], Hye Ryeong Kim[1], Bo Ram Song[1], Jin Tae Hong[2] , Dae Youn Hwang[1]
[1]Department of Biomaterials Science, Pusan National University, [2]College of Pharmacy, Chungbuk National University

**3C07　Improvement effects of Red *Liriope platyphylla* against loperamide-induced constipation through regulation of muscarinic acetylcholine receptors and endoplasmic reticulum stress downstream signaling pathway**
○ Jun Young Choi[1], Ji Eun Kim[1], Ji Eun Sung[1], Hyun Ah Lee[1], Woo Bin Yun[1], Jin Ju Park[1], Mi Rim Lee[1], Hye Ryeong Kim[1], Bo Ram Song[1], Jin Tae Hong[2], Dae Youn Hwang[1]
[1]Department of Biomaterials Science, Pusan National University, [2]College of Pharmacy, Chungbok National University

**3C08　Lipolytic effect of novel extracts from mulberry（*Morus alba*）leaves fermented with *Cordyceps militaris* in the primary adipocytes derived from SD rats**
○ Mi Lim Lee[1], Ji Eun Kim[1], Woo Bin Yun[1], Jun Young Choi[1], Jin Ju Park[1], Hye Ryeong Kim[1], Bo Ram Song[1], Young Whan Choi[2], Kyung Mi Kim[2], Dae Youn Hwang[1]
[1]Department of Biomaterials Science, Pusan National University, [2]Department of Horticultural Bioscience, Pusan National University

**3C09　Proteomic Analysis on Cell Regulation of Vitamin C in AGS Cell**
○ Lee SangJoon[2], Lee HoJeong[1], Yumnam Silvia[1], N. Arulkumar[1], Heo JeongDoo [2], Kim EunHee[3], Kim GonSup[1]
[1]Gyeongsang National University, [2]Korea Institute of Toxicology, [3]International University of Korea

**【27 日・ポスター D　コアタイム　11：00 ～ 12：00】**
「疾患モデル」「バイオリソース」

**3D01　国際マウス表現型解析コンソーシアム（IMPC）マウス作製へのゲノム編集技術の適用**
○綾部 信哉[1]、中島 謙一[2]、岩間 瑞穂[1]、伊集院 麻衣子[1]、山村 竜典[1]、中出 浩司[2]、仲柴 俊昭[1]、村田 武英[2]、吉木 淳[1]、小幡 裕一[2]
理化学研究所 バイオリソースセンター [1]実験動物開発室、[2]遺伝子材料開発室

**3D02　IMPC 加齢性表現型解析パイプラインにおける基準系統 C57BL6/N の血液・免疫関連表現型の変化**
○尾崎 真央、岡 英治、加賀 美智子、大島 正、柳沢 僚子、鈴木 智広、小林 喜美男、若菜 茂晴
理化学研究所 バイオリソースセンター 日本マウスクリニック

**3D03　IMPC 表現型解析における Calorimetry コントロールデータの解析**
○山田 郁子、串田 知子、柏村 実生、鈴木 智広、金田 秀貴、小林 喜美男、三浦 郁生、古瀬 民生、若菜 茂晴
理化学研究所 バイオリソースセンター マウス表現型解析開発チーム

**3D04　実験動物の表現型と疾患との関連性を示すデータベース**

○桝屋 啓志、高月 照江、谷川 紀子、高山 英紀、佐藤 道比古、田中 信彦
理化学研究所 バイオリソースセンター

**3D05　モデル生物表現型データポータルサイト J-phenome における情報統合の現状**

○高月 照江[1]、高山 英紀[1]、佐藤 道比古[1]、谷川 紀子[1]、高田 豊行[2]、庫本 高志[3]、成瀬 清[4]、若菜 茂晴[1]、田中 信彦[1]、桝屋 啓志[1]
[1] 理化学研究所 バイオリソースセンター、[2] 国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 哺乳動物遺伝研究室、[3] 京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、[4] 基礎生物学研究所 進化多様性生物学領域 バイオリソース研究室

**3D06　Comparative analysis for reproductive ability of C57BL/6Nkorl and commercial C57BL/6N derived from different sources**

○ Woo Bin Yun[1], Ji Eun Kim[1], Ji Eun Sung[1], Hyun Ah Lee[1], Jun Young Choi[1], Mi Rim Lee[1], Jin Ju Park[1], Hye Ryeong Kim[1], Bo Ram Song[1], Young Suk Jung[2], Hyun Keun Song[3], Joon Young Cho[4], Kil Soo Kim[5], Dae Youn Hwang[1]
[1]Department of Biomaterials Science, Pusan National University, [2]Department of Pharmacy, Pusan National University, [3]Departmentof Microbiology and Immunology, Inje University College of Medicine, [4]Department of Health and Exercise Science, Korea National Sport University, [5]College of Veterinary Medicine, Kyungpook National University

**3D07　世界最高水準のラットリソース拠点：ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」**

○田中 美有、金子 武人、Birger Voigt、根小田 祐基、萩原 和美、崔 宗虎、中川 優貴、長尾 朋美、中西 聡、山崎 賢一、浅野 雅秀、庫本 高志
ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

**3D08　東京大学医科学研究所実験動物センターにおける胚操作・生物遺伝資源バンクの活動状況**

○星 美穂、峯岸 容子、宮川 敦士、金子 哲也、米田 美佐子、甲斐 知恵子
東京大学医科学研究所 実験動物研究施設

**3D09　理研 BRC のマウスリソース収集・保存・提供の進捗**

○吉木 淳、仲柴 俊昭、綾部 信哉、平岩 典子、中田 初美、池 郁生、持田 慶司、小倉 淳郎、小幡 裕一
理化学研究所 バイオリソースセンター

**3D10　CARD マウスバンクを利用した遺伝子改変マウス計画生産**

○坂口 香織[1]、高橋 郁[1]、山下 紀代子[1,2]、近藤 朋子[1,2]、春口 幸恵[1,2]、竹下 由美[1,2]、中牟田 裕子[1,2]、梅野 智子[1,2]、石田 恵理[1,2]、岩本 まり[1]、坂本 亘[1]、土山 修治[1]、中川 佳子[1]、中村 直子[3]、川辺 正等美[3]、鳥越 大輔[3]、竹尾 透[1]、中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野 、[2] 九動株式会社、[3] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）病態遺伝分野

**3D11　CARD 有償マウスバンクシステムを利用した凍結胚 / 精子による個体作製**

○岩本 まり[1]、山下 紀代子[1,2]、近藤 朋子[1,2]、春口 幸恵[1,2]、竹下 由美[1,2]、中牟田 裕子[1,2]、梅野 智子[1,2]、石田 恵理[1,2]、高橋 郁[1]、坂口 香織[1]、土山 修治[1]、坂本 亘[1]、中川 佳子[1]、中村 直子[3]、川辺 正等美[3]、鳥越 大輔[3]、竹尾 透[1]、
中潟 直己[1]
[1] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2] 九動株式会社、[3] 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）病態遺伝分野

**3D12　ヒト iPS 細胞由来造血細胞のヒツジ体内での長期生着**

○阿部 朋行[1,2]、柴田 宏昭[3]、魚崎 英毅[1]、原 弘真[1]、大貫 貴広[1]、スブド ビャンバー[1]、ナーウィン ジャントラー[1]、ボラジギン サラントラガ[4]、福森 理加[4]、長尾 慶和[4]、花園 豊[1,2,3]
自治医科大学 [1] 再生医学研究部、[2] 幹細胞・創薬基盤研究部門、[3] 共同利用コーディネート部門、[4] 宇都宮大学農学部附属農場